新年度にあたって

一般社団法人
静岡県臨床衛生検査技師会
会長　山口　浩司

新緑の候、会員ならびに賛助会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

一般社団法人　静岡県臨床衛生検査技師会は昭和 27 年に検査技術者会として創立され、平成 4 年に社団法人、平成 25 年に一般社団法人に移行しました。現在、会員数 1,618 人（平成 29 年 3 月末）を擁する職能並びに学術団体です。

本会は平成 28 年 6 月より新理事体制として活動し、県内 3 支部を軸とした学術活動や組織強化活動と伴に、公益事業を主に展開しています。日臨技の事業とも歩調をあわせ、「検査説明・相談の出来る臨床検査技師」の育成と共に、改正臨床検査技師法による「新たな検体採取」に関する指定講習会への参加と、臨床の現場での積極的な実践を目指しています。これらの施策は厚労省と各医療団体が取り組んできたチーム医療の推進が背景にあります。最近は『多職種連携』という言葉が使われ、そのような取組みの先に「病棟業務」や「在宅医療」があり、その実践は超高齢化社会や労働者不足となる今後の日本の医療において必要不可欠なものです。また、認知症に罹患した方の行動を理解して対応することや認知症テストを学ぶことを目的として、今年度より新たに全国都道府県で「認知症対応力向上講習会」が開催されます。当会も取り組んでまいりますので是非ご参加いただきたいと思います。

その他に、検査データに関しましては日臨技の精度保証施設の認証取得や国際基準の取得により、品質保証や精度保証に取組むことが必要です。また、検査データを国民の健康情報として一元的な活用ができるよう「共用基準範囲」及び「臨床検査項目標準マスター」について検討し対応していく必要があると考えます。

さて、平成 30 年 5 月に当会が担当県として「第 67 回日本医学検査学会」を開催いたします。テーマを、様々な取り組みを着実に実践し新たなステージで活躍する臨床検査技師をイメージし、『Let’s go this way ―その道を進もう― ; 多様な役割のなかで、新たな存在価値を示す』と定めました。実りある学会を目指し役員一同は鋭意準備に取り組んで参りますので、会員や賛助会員の皆様には多数ご参加いただきたく存じます。また、当会が創立 65 周年を迎えますことから同年 6 月の総会後に記念式典を行う予定となっております。

本年度も、会員皆様と（一社）静臨技にとって実り多き年となりますよう役員一同力を合わせ精一杯頑張って参ります。皆様にはどうかご指導とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成 29 年 4 月吉日